

■ 笠縫学区地域協働合校事業

(笠縫学区まちづくり協議会)

1 【活動の趣旨】

「子どもも大人も共に学び、共に育つ」地域活動を通して、子どもと大人がつながり絆を育むことにより子どもたちの成長を見守る。

2 【特徴的な内容】

○さつまいもの「苗植え体験」と「収穫体験」

笠縫小学校2年生の生活科の授業の一環で、地域の大人とさつまいもの苗植え体験と収穫体験を実施した。

【日 時】苗植え5月22日(月)、収穫10月18日(水)

【場 所】笠っ子アドベンチャーパーク(下笠町)

【対 象】笠縫小学校2年生 110名

【協 力】各事業 大人約30名

○もちつき体験・正月遊び・書初め

地域の大人ともちつきを体験し、福笑いや百人一首などの正月遊びを楽しんだ。けん玉と書初めは講師を招き、けん玉は持ち方やコツを教えてもらい、書初めはお手本やアドバイスのように大きく・太く・元気よくを心がけて書いた。

【日 時】1月6日(土)午前

【場 所】笠縫まちづくりセンター

【参 加】笠縫こども園園児 11名、小学生 47名
大人18名 スタッフ30名

3 【実施に当たっての工夫】

- ・さつまいもの苗植えでは、苗を植える前に、子どもたちに品種や名前の由来、植え方の違いなどを地域の方に説明してもらった。
- ・収穫では、事前に大人がさつまいもの周囲の土をスコップでほぐし、掘り起こしやすようにした。
- ・もちつき体験では、班分けをし、時間配分を決め、もちつき、遊び、書初めをスムーズにまわれるようにした。

4 【事業の成果】

- ・子どもたちは、さつまいもの苗植えから収穫までを体験することで、野菜を育てることの楽しさや大変さ、食べることへの関心を持つことができた。
- ・子どもと大人だけでなく、大人同士も交流できる良い機会になった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・より多くの方に参加してもらえるよう、事業の周知・発信の方法を工夫していきたい。
- ・地域の中高生も参加できるような事業も考えていきたい。



【さつまいもの苗植え】



【さつまいもの収穫】



【もちつき体験】



【書初め】